

## 北太平洋（NOPAC）ルートにおける需要予測案

国際路線のうち、特に混雑の著しい北太平洋ルートについて今後の需要予測を行った。北太平洋ルートにおける需要予測については、平成6年6月の航空審議会23号答申において実施されているが、今回の需要予測はこれを時点修正するものである。

### (1) 需要予測の方法

2000年における北太平洋ルート通過機の実績値に、今後予想される需要の伸びを掛け合わせることで算出する。

2000年における北太平洋ルート通過機の実績値については、以下のとおり。

北太平洋ルート通過機	81,638機
うち、日本発着機数	47,513機 (58%)
うち、上空通過機数	34,125機 (42%)

今後予想される北太平洋ルートにおける需要の伸びについては、日本発着機に対しては、第4回空港整備部会資料に基づき算出したアメリカ方面の旅客数の伸び率を利用し、上空通過機の伸びに対しては、ICAOにおいて算出されたアジア太平洋地域と北米間の旅客便の伸び率を利用する。

#### ・日本発着機数（空港整備部会配付資料より）

2000年の実績値 47,513機

伸び率 00～07年 4.2%/年（1,615万人（2000年） 2,160万人（2007年））  
07～12年 4.8%/年（2,160万人（2007年） 2,730万人（2012年））

#### ・上空通過機数

2000年の実績値 34,125機

伸び率（ICAO Report of the APA TFG, June 2001より）

00～05年 6.4%/年  
 06～10年 5.3%/年  
 11～15年 5.1%/年

(2) 需要予測結果

2001年から2012年までの航空需要予測は表1のとおりである。また、これをグラフにしたものは、図1のとおりである。

表1 北太平洋ルートにおける航空需要予測

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
予測値	85,818	90,221	94,861	99,750	104,902	109,819	114,970	120,747	126,815	133,188	139,762	146,660

(3) その他

なお、ICAOで出されているアジア太平洋地域と北米間の旅客便の推移には日本離発着の航空機も含まれていることから、需要の伸びについては、日本発着機と上空通過機を区別をせずに、一律にICAO公表の伸び率を使った場合には、北太平洋ルートにおける需要予測は表2及び図2のとおりとなる。

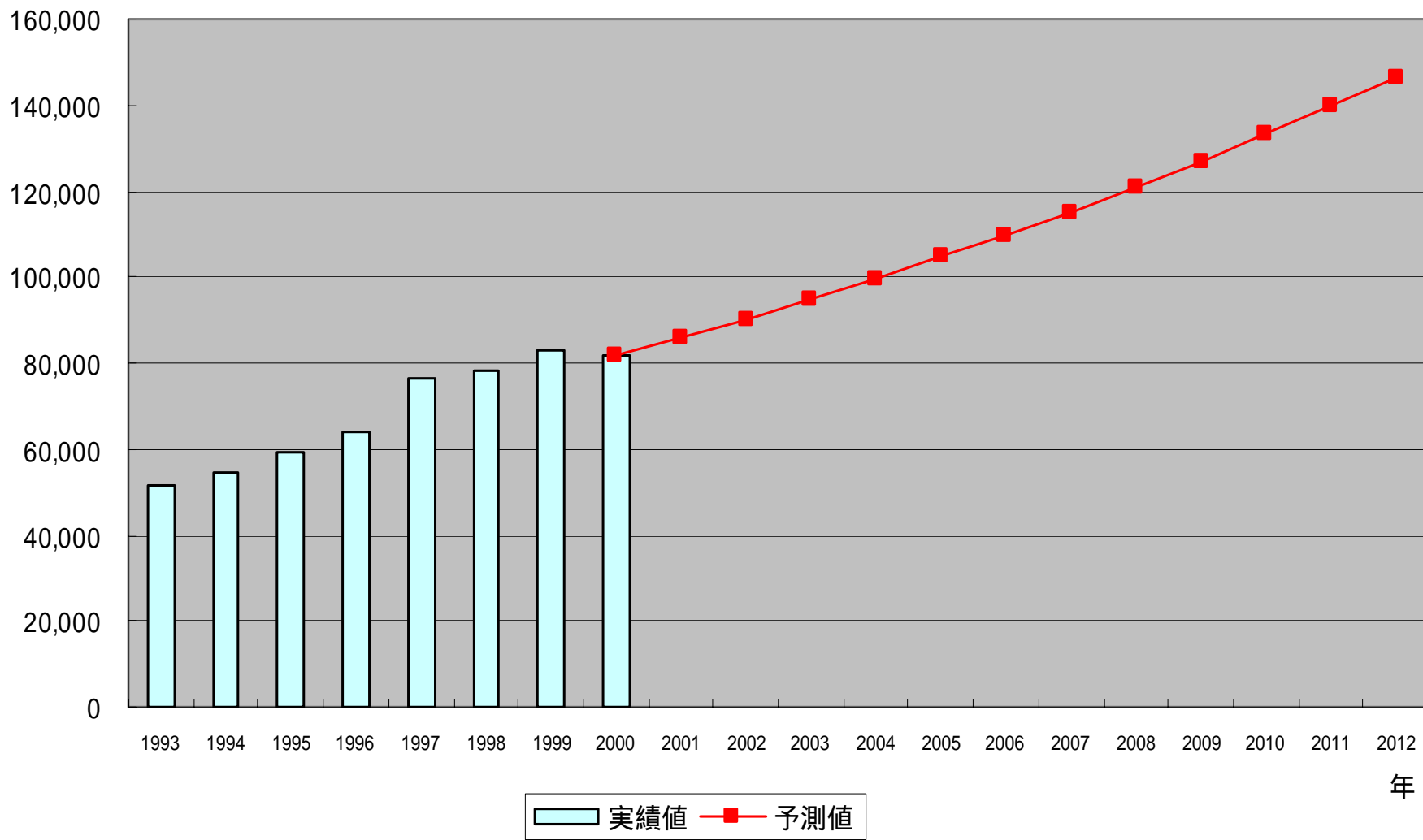
- ・2000年の実績値 81,638機
- 伸び率 (ICAO Report of the APA TFG, June 2001 より)
- 00～05年 6.4%/年
- 06～10年 5.3%/年
- 11～15年 5.1%/年

表2 北太平洋ルートにおける航空需要予測

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
予測値	86,863	92,422	98,337	104,631	111,327	117,227	123,440	129,982	136,871	144,125	151,475	159,200

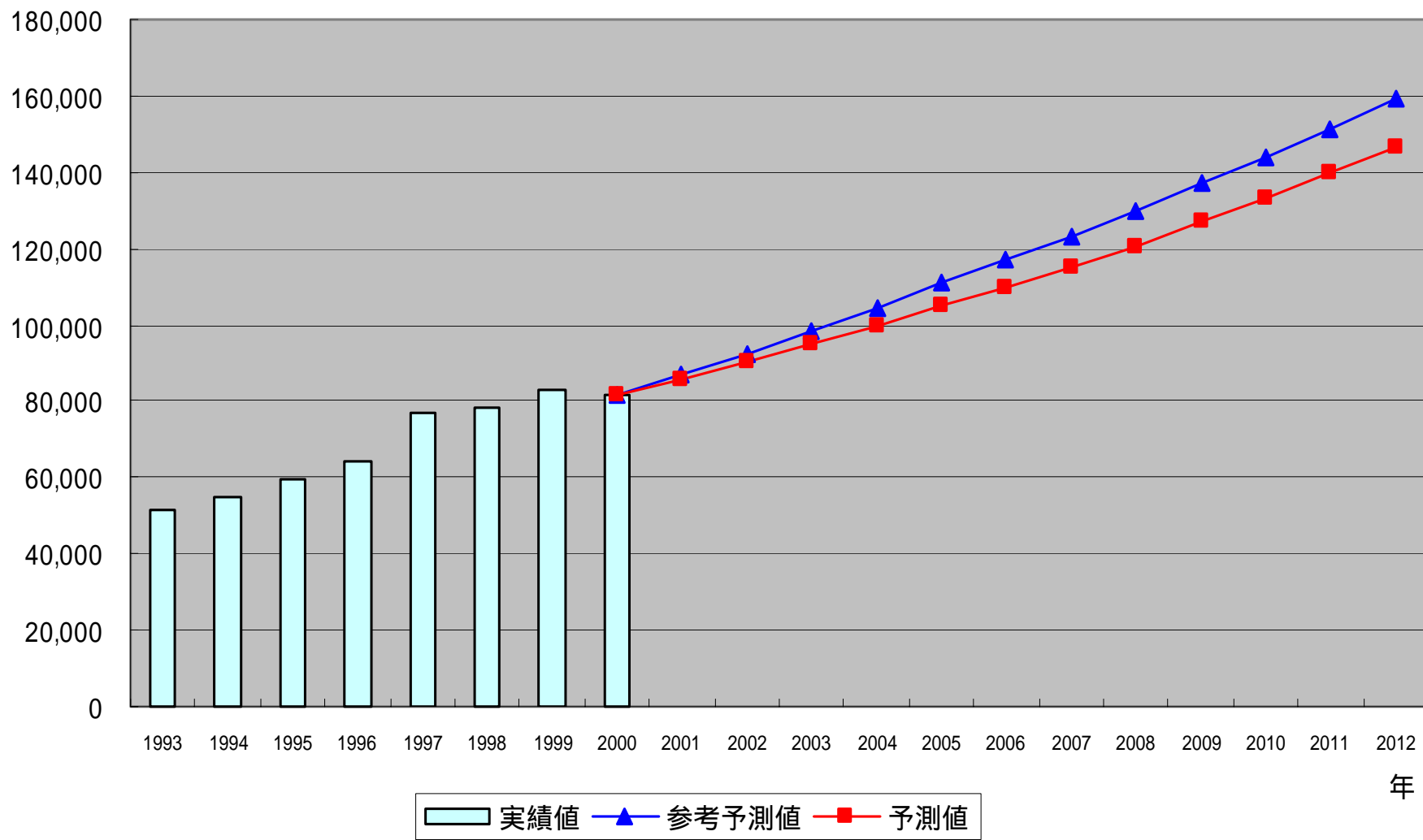
図1 北太平洋(NOPAC)ルートにおける需要予測(1)

機数

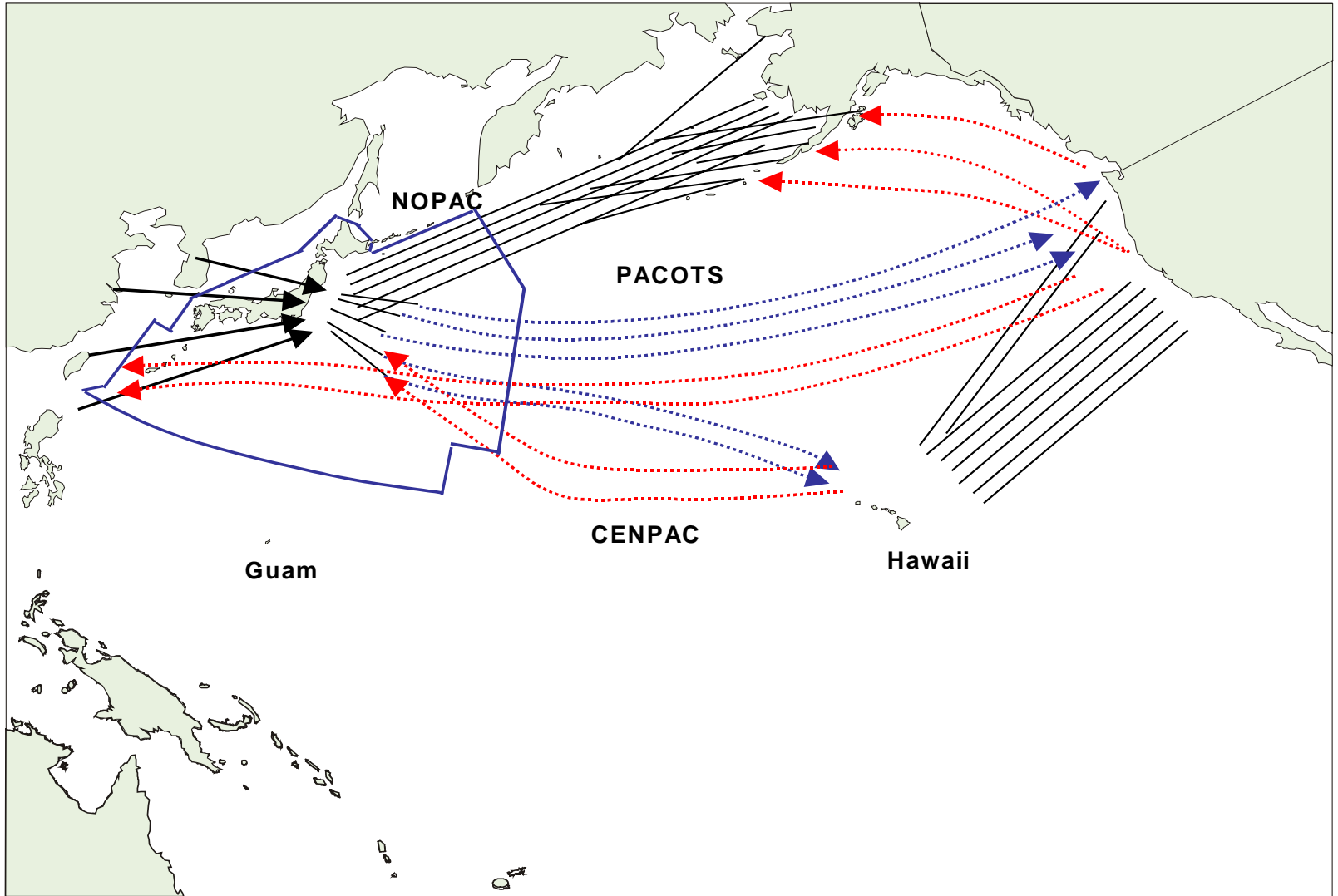


# 図2 北太平洋(NOPAC)ルートにおける需要予測(2)

機数



# 北部・中部太平洋の航空路の構成



(参考)

## 社会経済フレーム

ソース	空港整備部会	I C A O
人口フレーム	2000年 126,926千人 2007年 127,733千人 2012年 127,107千人 2017年 125,513千人 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」)	
経済成長率	2001年度 -1.0% 2002年度 0.0% 2003年度 0.6% 2004, 2005年度 1.5% 2006年度 1.6% 2007~2010年度 1.9% 2011~2015年度 1.5% (「政府経済見通し」等)	
海外GDP	米国 2001年度~ 3.2% 2011年度~ 1.5% アジア 2001年度~ 6.0% 2011年度~ 4.2% (アジア経済1999、OECD資料等)	北米 2000年~2005年 3.2% 2005年~2015年 2.8% アジア太平洋地域 2000年~2005年 4.2% 2005年~2015年 3.6% (IMF資料)
為替レート	130円/ドル	
イールド指数 (年平均伸び率)		2000年~2005年 -0.4 2005年~2015年 -0.6 (ICAO資料)

注：イールド指数（北米 - アジア太平洋地域間）とは、運航コスト等を指数にしたもの

## 海外方面別国際旅客数

(単位:万人)

年度 海外方面	2000	(参考値)	
		2007	2012
アメリカ	1,615	2,160	2,730
ヨーロッパ	589	850	1,090
アジア	2,371	2,810	3,660
トランジット	681	920	1,190

## 海外方面別国際貨物量

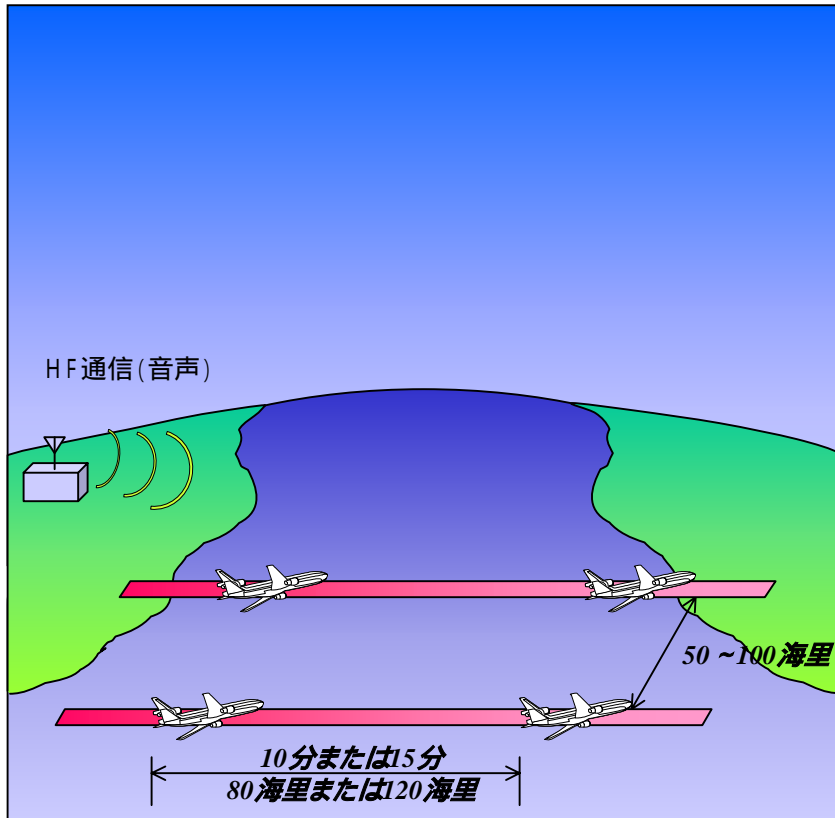
(単位:千トン)

年度 海外方面	2000	(参考値)	
		2007	2012
アメリカ	596	750	880
ヨーロッパ	430	550	670
アジア	1,438	1,940	2,510
トランジット	462	630	740

(第4回空港整備部会資料の抜粋)

# 洋上管制間隔の短縮

## 現行システム



## 衛星導入後

